

第2期志摩市創生総合戦略（案）に関するパブリックコメント（意見募集）
結果について

【意見募集の期間】

令和元年12月24日～令和2年1月23日（31日間）

【計画（案）の公表方法】

志摩市ホームページへの掲載

志摩市情報コーナー（本庁1階ロビー）での閲覧

総合政策課及び各支所の窓口での閲覧

【意見等の提出方法】

総合政策課及び各支所へ書面（所定様式）の持参
郵送

ファクシミリ

電子メール

【募集結果】

意見等の件数：1件

	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	第2期総合戦略は、平成27年度に作成した第1期総合戦略に取り組んだ結果を受けて作成されたものであるということだが、この5年間、市は第1期の総合戦略をどう実行し、どんな成果があり、何が足りなかったのか、その考察が見えない。総合戦略のPDCAサイクルは本当に回っているのか？その取り組みの実態が全く見えてこない。まず、この5年間のチェック結果を市民に示すべきではないか。	総合戦略に関するPDCAサイクルについては、地方創生審議会や市議会での意見交換を行いながら、毎年度の評価及び見直しに取り組んで参りました。第2期総合戦略の策定に向けては、平成27年度から30年度までの4年間の実施結果を踏まえた暫定的な第1期志摩市創生総合戦略に係る評価（総括）を行い、令和元年11月に市議会へ報告も行っております。 当該資料について、市民の皆様にご確認いただけるよう市ホームページにて公表いたします。

2	<p>第2期総合戦略の柱として、SDGsとの関連付けがあるが、市民が自分事としてSDGsをとらえる仕掛けがこの戦略には欠けている。わかりやすい表記とともに市民に寄り添う形の戦略を立て、その結果が、実はSDGsの項目と合致していた、という仕掛けが必要である。志摩でみられるこの日常風景の中に、健康寿命、地産地消、相互扶助の観点からSDGsのターゲットや目標に合致するものが見つかるように思う。市民の生活からSDGsを拾い上げる視点があってもいいのではないか。</p>	<p>SDGsは世界のさまざまな課題を集約し、17のゴールを設定しているため、必ずしも日本の状況に即したゴールやターゲットばかりではないことから、自分たちが暮らす地域も含めた世界中すべての地域を将来にわたり持続可能な状態にできるよう、地域の文脈でSDGsを捉え直す、「ローカライズ」の必要があります。ご意見のとおり、SDGsのゴールやターゲットを生活の中に落とし込んでいくことが重要であると考えますので、市民の行動につなげていけるよう、総合戦略を実行していきます。</p>
3	<p>市が推進するSDGs、つまり「持続可能な社会の実現」であるが、現在の志摩市でその持続可能性をおびやかす大きな問題は、大型ソーラーパネルの問題である。もちろん自然エネルギーの活用も持続可能な社会の実現には大事な視点かもしれないが、今のままで本当に志摩の自然は守られるのか。この総合戦略で本当に20年後に志摩の自然は守られているのか。持続可能な状態で志摩市を若者たちに受け継いでもらえる総合戦略になっているのか。</p>	<p>志摩市人口ビジョンで描く「地域の魅力を活かした産業を基礎に、市民がつながりあって小さな地域とまちを支え、文化・伝統を守りながら、美しい自然とともにいきいきと暮らしている」という、2060年の将来の姿を目指し、第2期総合戦略を策定しています。</p> <p>豊かな自然とともに暮らし続けることができる「持続可能なまちづくり」に向け、実現できるよう、総合戦略を実行していきます。</p>